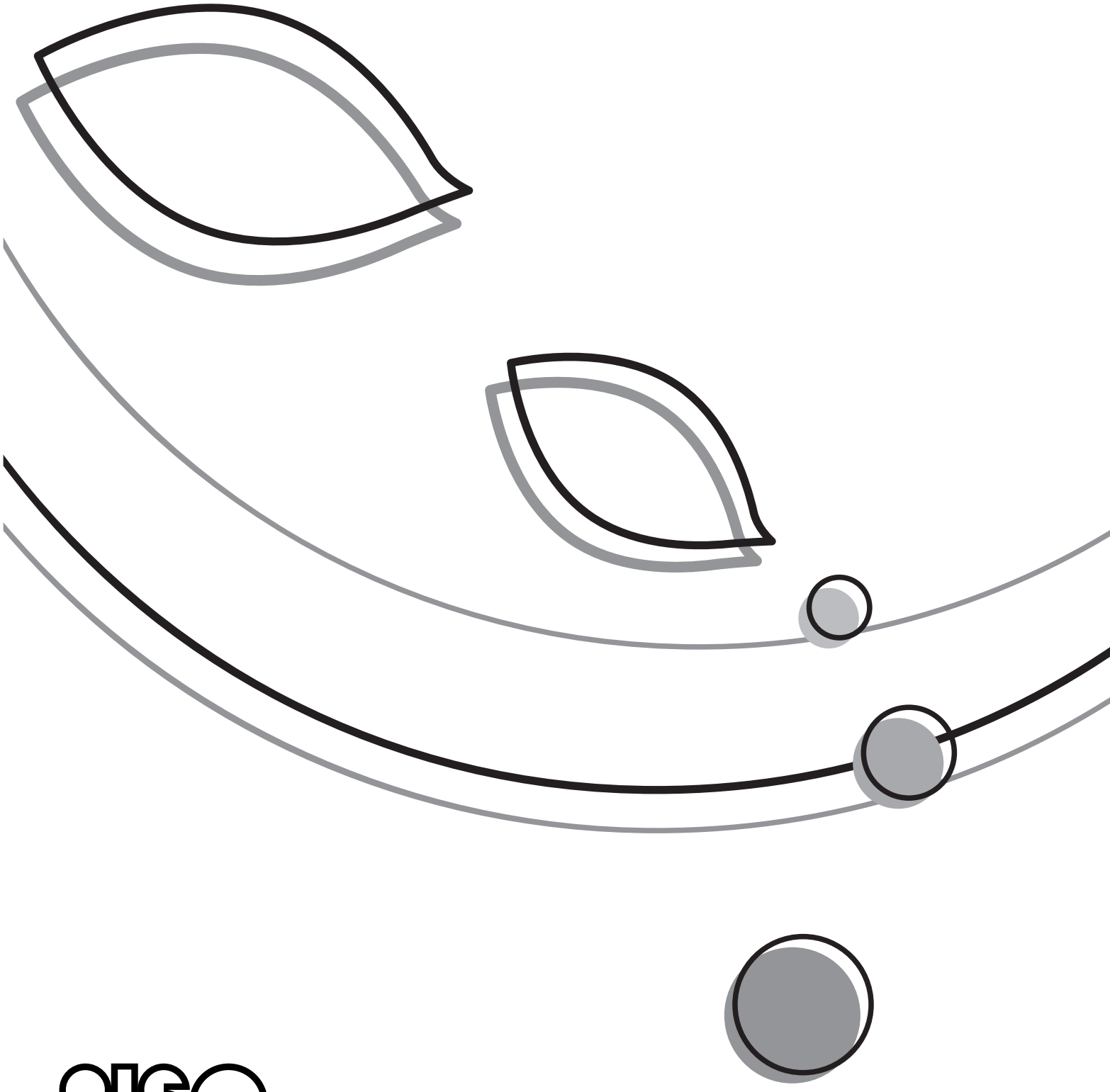
RISOGRAPH RZ

977/970/777/770/737/730

取扱説明書/連携機（オプション）



RISO

045-36018

⚠ 注意

安全のため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるように所定の場所に保管してください。

ごあいさつ

このたびは、連携機（Prioa）をご採用いただき、まことにありがとうございます。
本書では、リソグラフ※のスキャナで原稿を読み取り、連携機（Prioa）から印刷する［RLPモード］での操作方法を説明しています。
ご使用になる前によくお読みください。また、ご使用中不明な点があるときや、必要なときに本書をお読みいただき、本製品とともに末永くお役立てください。
ご使用中に「おかしいな」「故障かな」と思ったときは、印刷機の取扱説明書またはPrioaの取扱説明書をご覧ください。
※適用モデル名：RZ977/970/777/770/737/730

RISO は理想科学工業株式会社の登録商標です。
RISO iQuality System™は理想科学工業株式会社の商標です。
RISO III™ は理想科学工業株式会社の商標です。

この取扱説明書は、RISOソイインクを使用し、理想環境用紙に印刷しています。

目次

3 文中の表記について
4 連携機を使用したプリント機能について
5 連携機を使うための準備［環境設定ー RLP］
5 環境設定の RLP 項目一覧
6 RLP 情報の設定一覧
9 RLP 情報の設定
10 紙原稿を読み取り連携機から出力する［RLP モード］
13 連携機のオプション機能を使用する
14 設定可能な項目一覧
17 両面印刷のしかた［両面］
17 原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置 AF-VI を使用する場合
20 RISO オートフィーダー DX-1 を装備している場合

文中の表記について

本書では本文中の表記を次のように行っています。

■ 注意事項等の表記について

全ページ通して、注意事項などは次のようなマークで統一して表しています。

気をつけていただきたいことや禁止事項などを記載しています。
よく読んで指示に従ってください。

参照ページを示しています。

原稿を表しています。

本機をご利用いただく上で、知っておくとためになる情報や便利な情報を記載しています。

ディスプレイ上のボタンにタッチすることを表しています。

印刷物を表しています。

■ 本書の記載内容・使用しているイラストについて

- ディスプレイのイラストは、初期設定では表示されていないボタンや、オプションを装着した場合にのみ表示されるボタンも、表示している状態で記載しています。
- 本書に記載している操作説明・イラスト・画面には、基本的にRZ977を使用しています。
- 本書では、オプションの自動原稿送り装置AF-VIとRISOオートフィーダーDX-1をあわせて「自動原稿送り装置」と記載しています。

連携機を使用したプリント機能について

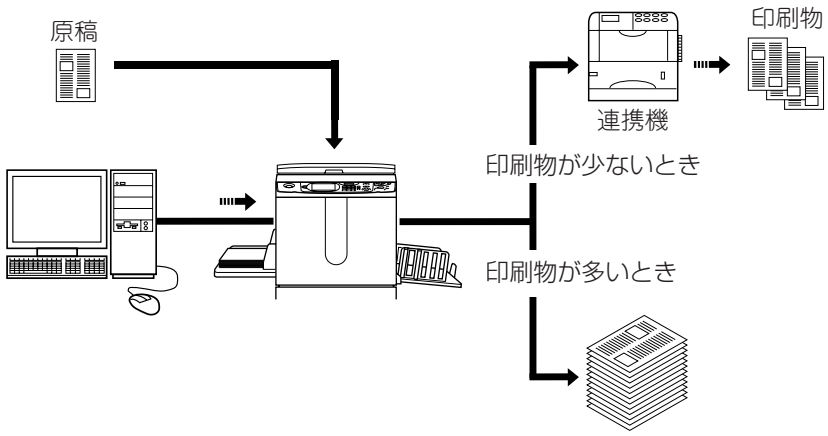
本機は連携機(Prioa)と接続して、より経済的なプリントが行えます。
連携機を使ったプリントには、「自動振分」と「RLPモード」の2つがあります。

重要 **連携機として接続できるプリンタは「Prioa」です。接続には、RISORINC-NETが必要です。**

■ 自動振分機能

紙原稿や、パソコンから送信したデータをプリントする場合、あらかじめ基準枚数(自動振分枚数)を設定しておくと、印刷部数が基準枚数以上のときは本機を、基準枚数未満のときは連携機を自動で選択し、プリントします。
ホールドメモリー(オプション)に保存したホールドデータを呼び出してプリントする場合も、枚数により自動的に振り分けてプリントができます。

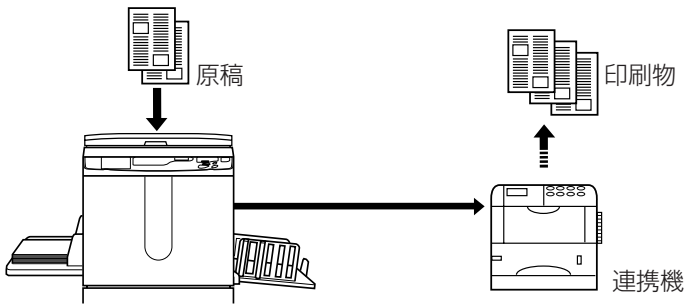
☛ 印刷機の取扱説明書の「初期設定を変更する/自動振分枚数」、「初期設定を変更する/受信ジョブ自動振分」、「「ホールド」と「スキャンモード」」



重要 **紙原稿の場合、製版の前に印刷枚数の入力が必要です。枚数が「0」で** (スタート) **を押すと、無条件で本機からプリントします。**

■ RLPモード機能

本機で原稿を読み取り、連携機からプリントします。
両面印刷など、連携機の機能を使ったプリントができます。



連携機を使うための準備

[環境設定ーRLP]

本機と接続した連携機を使用できるようにするために、連携機に関する設定が必要です。

重要

- **本機と連携機が接続されていることを確認してください。接続されていない場合、情報登録はできません。**
- **情報の登録は、接続してある連携機(Prioa)1台ずつにそれぞれ行ってください。**

環境設定のRLP項目一覧

環境設定の変更のしかたについては、印刷機の取扱説明書の「初期設定を変更する」をご覧ください。
(「RLP情報設定」の手順については、P.9を参照してください。)
　　は工場出荷時の初期設定です。

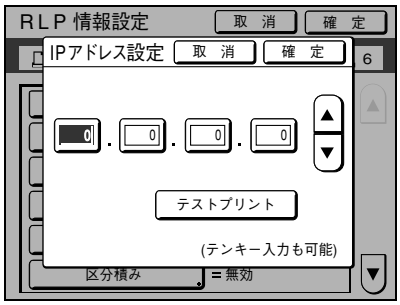
表示セレクトボタン	設定項目	設定内容
RLP	**RLP情報設定**	☛ P.6「RLP情報の設定一覧」
	RLP接続設定 本機に連携機Prioa(別売)を1 台だけ接続する(他の連携機やパソコンがネットワークにない)場合は、[1対1接続]にします。	通常接続・1対1接続
	自動振分枚数 出力先を切り替えるときの基準の印刷枚数を設定します。入力した印刷枚数が自動振分枚数未満のときは連携機から、設定した枚数以上のときは本機からそれぞれ出力されます。 参考 ● 初期値は20枚に設定されています。 ● 「自動振分枚数」を「有効」に設定しているときは、「最低印刷枚数」は設定できません。	有効[自動振分枚数] 2～99枚／無効 (工場出荷時20枚)
	RLP両面待ち時間 両面印刷をするときに、2枚目の原稿をセットするための待ち時間を設定します。	15秒・30秒
	受信ジョブ自動振分 パソコンから受信したデータを「自動振分枚数」の設定値で自動振分するかしないかを設定できます。 参考 「自動振分枚数」が「無効」に設定されていると、この項目はグレー表示になり設定できません。	有効・無効
	RLP情報取得時間 連携機からの情報を本機が取得するタイミングを設定します。	1～999秒 (工場出荷時15秒)
	RLP読取モード 連携機から出力するときに、「速度優先」にするか「画質優先」にするかを選択できます。	速度優先・画質優先

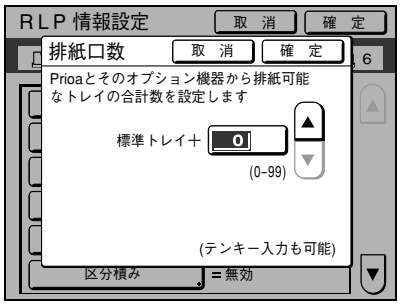
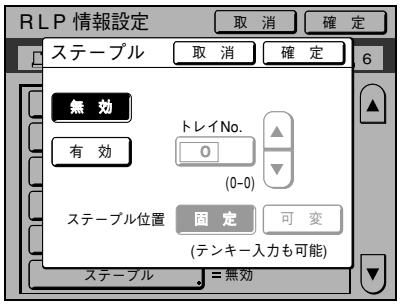
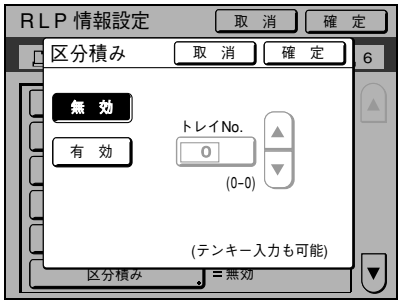
連携機を使うための準備

RLP情報の設定一覧

重要 **接続されている連携機の機能(オプション装着状況など)を正しく登録してください。登録が不完全な場合、その機能は使用できません。**

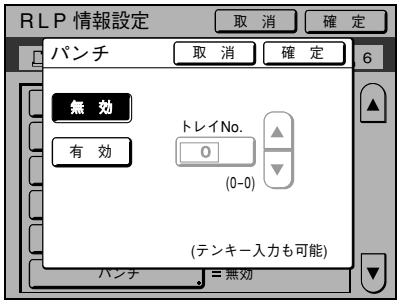
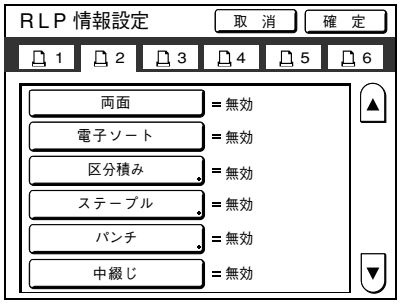
は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定内容	入力方法
RLP名称 連携機の名称を設定します。 参考 登録した名称はRLPモード画面で表示されます。		 文字ボタンにタッチして、1文字ずつ入力します。その後、[確 定] にタッチして、RLP名称を登録します。操作の詳細は、印刷機の取扱説明書を参照してください。
IPアドレス設定 連携機をネットワークに接続するためのIPアドレスを設定します。 参考 ● [テストプリント] にタッチすると、連携機へのデータ送信テストが実行されます。 テストに成功したときは、連携機からテストの結果のレポートが出力されます。失敗したときは、ワーニングメッセージが表示されます。[中 止] にタッチし、設定しなおしてください。 ● [テストプリント] は、「環境設定」の「本機IPアドレス設定」が未設定のときは選択できません。 ☛印刷機の取扱説明書の「初期設定を変更する／本機IPアドレス設定」		 ● ▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。 ● 入力位置を移動するときは、直接、入力位置のボタンにタッチするか、(＊) を押して移動させてください。

設定項目	設定内容	入力方法
排紙口数 標準トレイ以外で、排紙可能なトレイの数を設定します。 重要 ● **他のオプションで設定されている「トレイNo.」より小さい値を設定したときは、他のオプションは「無効」になります。** ● **実際のトレイの数が設定したトレイの数と異なる場合は、出力されずにエラーとなります。**	0～99	 ● 連携機の標準トレイから出力するときは、[0]を入力します。 ● ▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。
ステープル 「ステープル」機能がある場合に「有効」に設定します。また、「ステープル」機能が使えるトレイNo.※と固定･可変を設定します。	無効: ステープル機能なし（使用しない） 有効: ステープル機能あり 使用するトレイNo.／固定･可変	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイNo.]は、▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。
区分積み 「区分積み」機能がある場合に「有効」に設定します。また、「区分積み」機能が使えるトレイNo.※を設定します。	無効: 区分積み機能なし（使用しない） 有効: 区分積み機能あり 使用するトレイNo.	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイNo.]は、▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。 入力方法は、「区分積み」「パンチ」「フェイスアップ」とも同じです。

※トレイNo.はお使いのPrioaの機種により異なります。

連携機を使うための準備

設定項目	設定内容	入力方法
パンチ 「パンチ」機能がある場合に「有効」に設定します。また「パンチ」機能が使えるトレイNo.※を設定します。	無効: パンチ機能なし（使用しない） 有効: パンチ機能あり 使用するトレイNo.	 各ボタンにタッチして設定します。 [トレイNo.]は、▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。 入力方法は、「区分積み」「パンチ」「フェイスアップ」とも同じです。
フェイスアップ 「フェイスアップ」機能がある場合に「有効」に設定します。また「フェイスアップ」機能が使えるトレイNo.※1を設定します。	無効: フェイスアップ機能なし（使用しない） 有効: フェイスアップ機能あり 使用するトレイNo.	
両面 「両面」機能がある場合に「有効」に設定します。	有効・無効	 各ボタンにタッチするたびに有効・無効が切り替わります。
電子ソート 「電子ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
中綴じ 「中綴じ」機能がある場合に「有効」に設定します。		
回転ソート 「回転ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
AF時自動フェイスアップ※2 「AF時自動フェイスアップ」機能がある場合に「有効」に設定します。		
リバース出力 [リバース出力]機能がある場合に[有効]に設定します。		
AF時自動リバース出力※2 [AF時自動出力]機能があり、[リバース出力]が[有効]の場合に、[有効]に設定できます。		
メールボックス 「メールボックス」機能がある場合に「有効」に設定します。		
ソート 「ソート」機能がある場合に「有効」に設定します。		
ブックレット [ブックレット]機能がある場合に[有効]に設定します。		

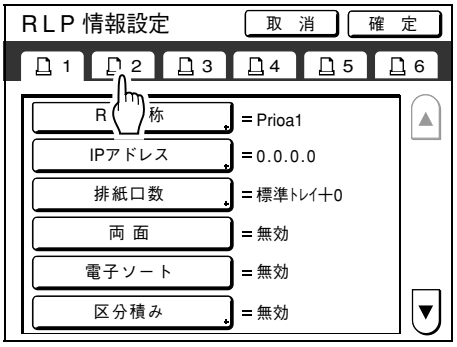
※1 トレイNo.はお使いのPrioaの機種により異なります。
※2 自動原稿送り装置AF-VI装着時のみの機能です。RISOオートフィーダーDX-1では使えません。

RLP情報の設定

1 [環境設定]画面で [RLP] にタッチする

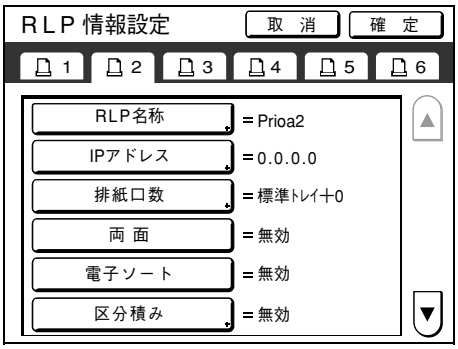
2 [RLP情報設定] にタッチする

3 情報を登録する連携機にタッチする



参考 連携機の情報は6台分まで登録できます。

4 登録する情報のボタンにタッチする



参考 表示された画面内に目的の項目がないときは、▲ または ▼ にタッチして表示を切り替えてください。

5 設定を変更する

「RLP情報の設定一覧」(P.6)を参考にして各項目を変更してください。

参考 設定画面がある機能は、設定の変更後、[確 定] にタッチします。変更内容が確定され、[RLP情報設定]画面に戻ります。変更を中止するときは、[取 消] にタッチして、[RLP情報設定]画面に戻ります。

6 [終了] にタッチする

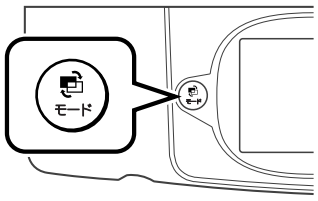
「環境設定」を終了し、基本画面に戻ります。

紙原稿を読み取り連携機から出力する

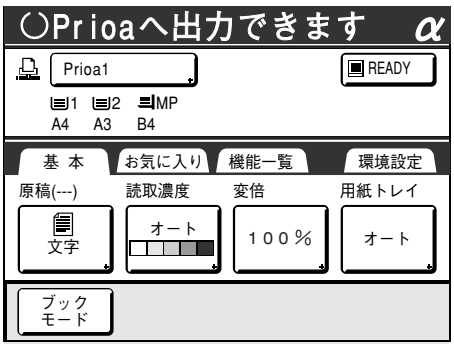
[RLPモード]

本機で原稿を読み取り、連携機(Prioa)からプリントするモードを「RLPモード」と呼びます。
RLPモードは、プリント枚数にかかわらず連携機でプリントしたい場合に使用してください。

1 RLPモードに切り替える



本機の (モード) を押して、RLPモードに切り替えます。
モード選択画面からRLP基本画面を表示する時は、[RLP出力] にタッチしてください。
ループ式に設定してあるときは、RLP基本画面が表示されるまで (モード) を押してください。
☛ 印刷機の取扱説明書の「画面の移り変わり」



参考

本機のディスプレイに[RISORINC-NETを起動しています／RLP情報取得中です しばらくお待ちください]と表示されたときは、ネットワーク経由で連携機の情報を確認している状態です。メッセージが消えるまでお待ちください。

2 原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置(オプション)に原稿をセットします。
原稿のセットについては、印刷機の取扱説明書の「紙原稿をプリントする」を参照してください。

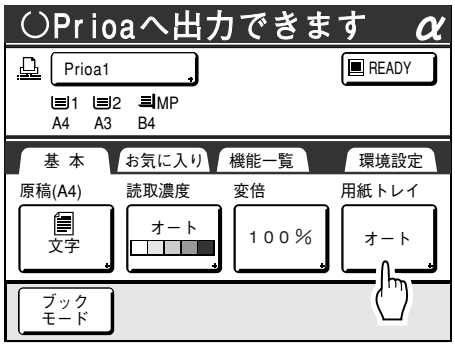
参考

- 両面原稿を片面に印刷したい場合は、機能一覧画面で [両 面] にタッチし、[両面 → 片面] を選択してください。
  ☛ P.23「両面原稿を片面に印刷する場合」
- RISOオートフィーダーDX-1にセットする場合は、原稿面を上にしてセットしてください。

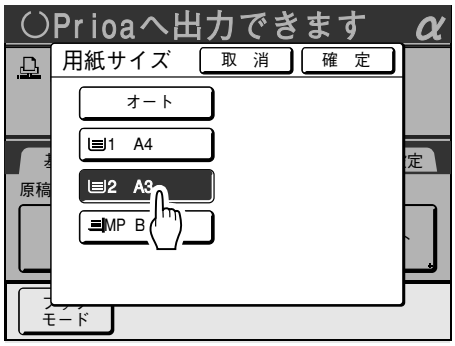
3 用紙を指定する

連携機に用紙トレイが複数あるときは[用紙]ボタンを押して、トレイ(サイズ)を指定してください。

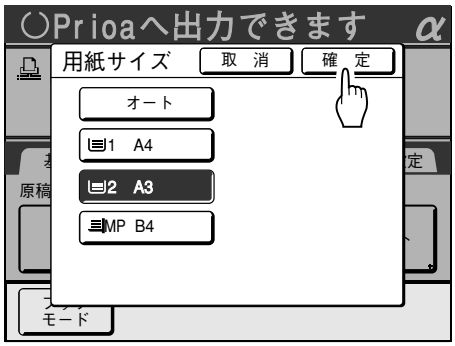
❶ RLP基本画面で[用紙]ボタンにタッチする



❷ 設定する用紙サイズのボタンにタッチする



❸ [確 定] にタッチする



4 必要に応じて、プリントに必要な各種機能を設定する

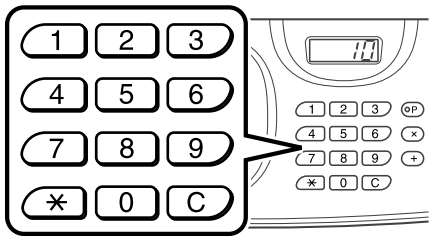
設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ

参考

- 連携機に両面印刷ユニットなどのオプションを装着しているときは、オプション機能を使用することができます。
  ☛ P.13「連携機のオプション機能を使用する」
- 印刷の速度や濃度、位置は調節(調整)できません。
- 本機で作業をしている途中にパソコンからデータが送信されると、パソコンからのデータを優先してプリントすることがあります。
  連携機からの出力を優先させるためには、「環境設定」の「占有延長」を設定しておくことをおすすめします。設定した時間内は、パソコンからのデータは処理されません。
  ☛ 印刷機の取扱説明書の「占有時間を延長する」

5 テンキーで印刷枚数を入力する

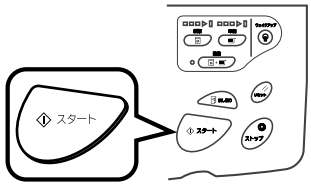


入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考

枚数の入力をまちがえたときは、C を押して消去した後に入力しなおしてください。

6 スタート を押す



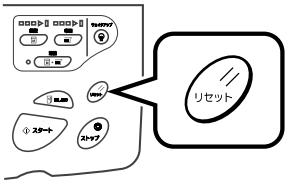
原稿の読み取りが始まります。
読み取られた原稿データは連携機に送信され、設定した枚数が連携機から出力されます。

参考

現在の設定をメモリーに登録しておくと、以後メモリーを呼び出すことにより同様の設定でプリントができます。

☛ 印刷機の取扱説明書の「メモリー機能を使う」

7 印刷終了後、リセット を押す



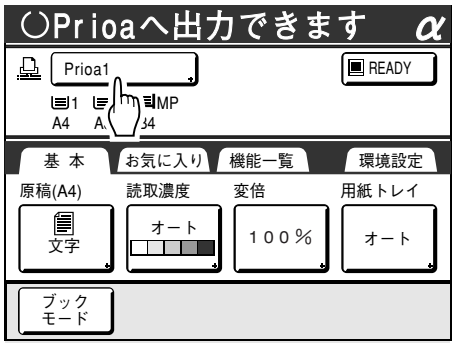
設定を初期値に戻します。

紙原稿を読み取り連携機から出力する

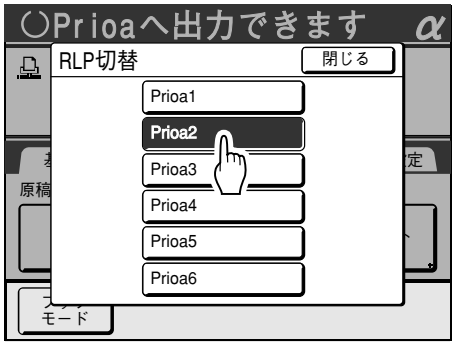
複数の連携機をネットワーク接続しているとき

複数の連携機をネットワーク接続で使用しているときは、出力先として使用する連携機を、必要に応じて切り替えることができます。
以下の手順で、出力先の連携機を切り替えます。

❶ RLP基本画面で[RLP名称]ボタンにタッチする



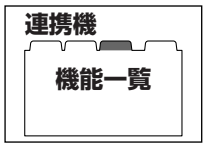
❷ 出力する連携機にタッチする



参考

- 連携機にエラーが発生している場合、その連携機は選択できません。
- RLPモード中に、選択している連携機でエラーが発生したときは、[RLP切替]画面が表示されます。出力可能な連携機を選択しなおしてください。連携機の追加導入については、お買い上げの販売会社(または保守・サービス会社)に相談してください。

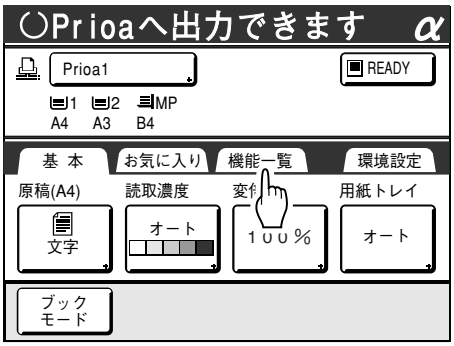
連携機のオプション機能を使用する



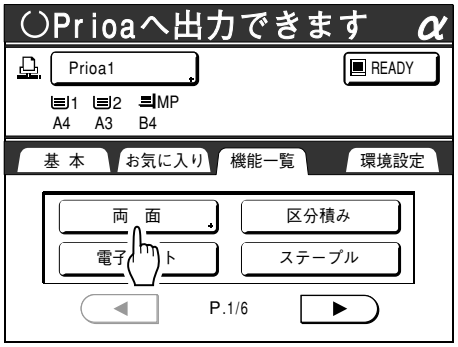
ソーターや両面印刷ユニットなど、オプションを取り付けたときに使用できる機能の設定について説明します。

参考　各機能の詳細ついては、「Prioa取扱説明書」をご覧ください。

1 RLP基本画面で 機能一覧 にタッチする



2 設定をする項目にタッチする



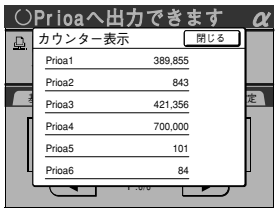
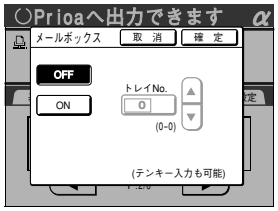
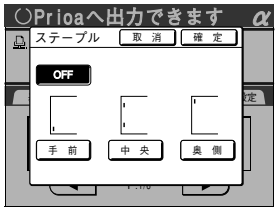
3 設定をする

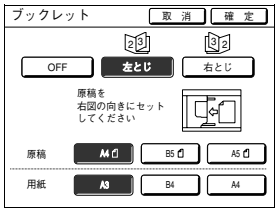
「設定可能な項目一覧」(P.14)を参考にして、各項目を設定してください。

連携機のオプション機能を使用する

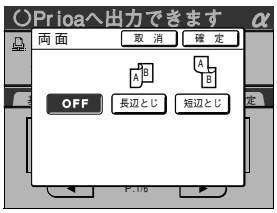
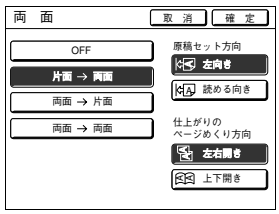
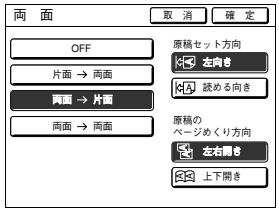
設定可能な項目一覧

■ は工場出荷時の初期設定です。

	概　要	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
カウンター表示	本機に情報登録した連携機ごとの、出力枚数が表示されます。	―――		―――
メールボックス	出力先の排紙トレイを選択します。	トレイNo.0～n(「環境設定」の「排紙口数」で設定したトレイの合計数)	 ▲ ▼ またはテンキーを押して入力します。	「排紙口数」: トレイ合計数を1以上に設定
区分積み	複数ページの印刷物を1部ずつ交互にずらして排紙する機能を設定します。	ON･OFF	―――	「区分積み」:「有効」を設定したときのみ表示
ステープル	印刷物をとじる位置を設定します。	「環境設定」の「ステープル位置」により異なります。 ■「固定」に設定時: ON･ OFF ■「可変」に設定時: OFF ･手前･中央･奥側	 各ボタンにタッチして設定します。	「ステープル」:「有効」、「ステープル位置」:「可変」を設定したときのみ表示
パンチ	印刷物にパンチ穴を開ける機能を設定します。	ON･OFF	―――	「パンチ」:「有効」を設定したときのみ表示
中綴じ	2つ折りで、中央を閉じた状態で印刷物を排紙する機能を設定します。	ON･OFF	―――	中綴じ: 「有効」を設定したときのみ表示

	概　要	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
フェイスアップ	印刷面を上向きにして排紙する機能を設定します。	ON･OFF	―――	フェイスアップ: 「有効」を設定したときのみ表示
リバース出力	自動原稿送り装置(オプション)を使って読み取った原稿を、逆順にして出力する機能を設定します。	ON･OFF	―――	リバース出力: [有効]を設定したときのみ表示
ソート	複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま各トレイに仕分けして出力する機能を設定します。	ON･OFF	―――	ソート: 「有効」を設定したときのみ表示
電子ソート	複数ページの原稿を、ページ順序を保ったまま単一のトレイに出力する機能を設定します。	ON･OFF	―――	「電子ソート」: 「有効」を設定したときのみ表示
回転ソート	複数ページの印刷物を、一部ずつ縦横交互に排紙する機能を設定します。	ON･OFF	―――	「回転ソート」: 「有効」を設定したときのみ表示
ブックレット	複数ページの原稿を製本する機能を設定します。	OFF･左とじ･右とじ 左とじ･右とじ設定時、原稿サイズと用紙サイズを設定します。 原稿:A4、B5、A5 用紙:A3、B4、A4	 各ボタンにタッチして設定します。	「ブックレット」: 「有効」を設定したときのみ表示

連携機のオプション機能を使用する

	概　要	設定内容	画面と入力方法	関連する環境設定
両面印刷	用紙の両面に印刷する機能です。本機に自動原稿送り装置AF-VI(オプション)またはＲＩＳＯオートフィーダーDX-1(オプション)を付けている場合と、付けていない場合で画面と入力方法が異なります。 参考　両面印刷機能を使った印刷方法は、「両面印刷のしかた」(P.17)を参照してください。	■自動原稿送り装置AF-VIを付けたとき OFF・長辺とじ・短辺とじ 原稿枚数の奇数枚・偶数枚 ■自動原稿送り装置を付けないとき OFF・長辺とじ・短辺とじ ■ＲＩＳＯオートフィーダーDX-1を付けたとき OFF・片面→両面・両面→片面・両面→両面 原稿セット方向: 左向き・読める向き 仕上がりのページめくり方向: 左右開き・上下開き 原稿のページめくり方向: 左右開き・上下開き	■自動原稿送り装置AF-VIを付けたとき 各ボタンにタッチして設定します。 ■自動原稿送り装置AF-VIを付けないとき  各ボタンにタッチして設定します。 ■ＲＩＳＯオートフィーダーDX-1を付けたとき   各ボタンにタッチして設定します。	―――

重要　**オプションの各機能は、連携機の機種やオプション構成などにより同時に設定できないものがあります。**

両面印刷のしかた

[両 面]

連携機
機能一覧
両　面

両面印刷ユニット(オプション)を連携機に装着しているときは、用紙の両面に印刷をすることができます。
自動原稿送り装置の「あり・なし」および自動原稿送り装置の機種により、操作が異なります。

本機に自動原稿送り装置がない場合または自動原稿送り装置AF-VIを装備している場合
☛ 下記「原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置AF-VIを使用する場合」をご覧ください。

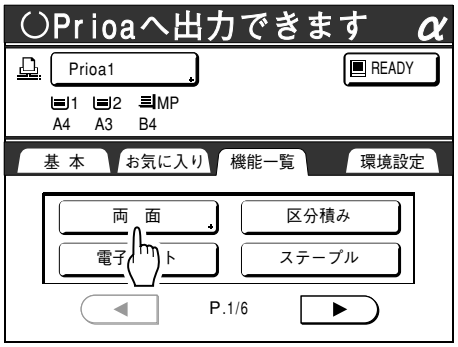
本機にRISOオートフィーダーDX-1を装備している場合
☛ P.20 「RISOオートフィーダーDX-1を装備している場合」をご覧ください。

参考　製版または印刷の機能一覧画面から「RLP両面」機能が使えます。

原稿台ガラスまたは自動原稿送り装置AF-VIを使用する場合

連携機に両面印刷ユニット(オプション)を装着しているときに設定できます。

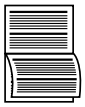
1 機能一覧画面で［両 面］にタッチする



2 両面とじ方向を設定する

以下の表を参考に、とじ方向を設定してください。原稿のセット方向と、とじ方向の組み合わせにより、印刷物の仕上がりが異なります。

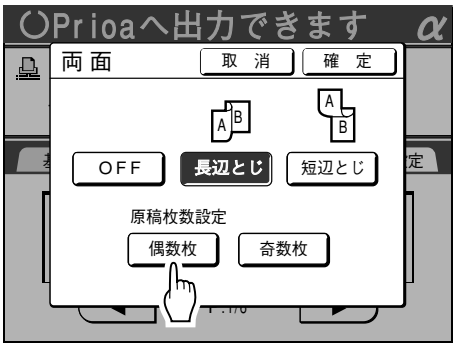
原稿のセット方向と「両面とじ方向」の関係

とじ方向＼原稿セット	縦置き（ポートレート）	横置き（ランドスケープ）
長辺とじ		
短辺とじ		

3 原稿枚数を設定する

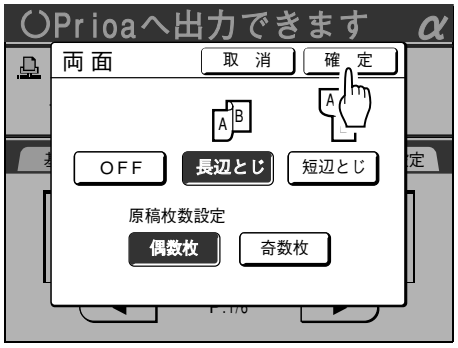
自動原稿送り装置AF-VI(オプション)を使用して原稿の読み取りを行うときは、原稿枚数が偶数枚か奇数枚かを設定します。

重要　**自動原稿送り装置AF-VIを使用しないときはこの手順は不要です。手順4へ進んでください。**



両面印刷のしかた

4 確 定 にタッチする



参考 両面印刷を行わないときは、OFF にタッチした後に 確 定 にタッチしてください。

5 原稿をセットする

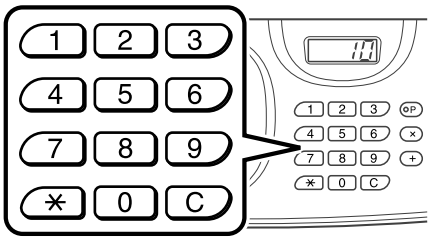
参考
- 原稿セットの詳細については、印刷機の取扱説明書の「紙原稿をプリントする」を参照してください。
- 自動原稿送り装置AF-VIIに奇数枚数の原稿をセットし、両面印刷を行うと、最初に読み取られた原稿の裏面は何も印刷されません。

6 プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- レイアウト原稿
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

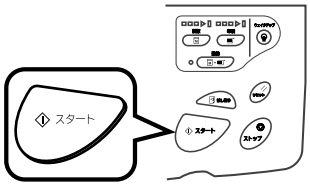
7 テンキーで印刷枚数を入力する



入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考 枚数の入力をまちがえたときは、C を押して消去した後に入力しなおしてください。

8 スタート を押す



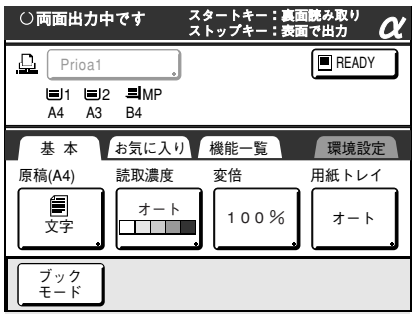
原稿台ガラスにセットしたときと自動原稿送り装置にセットしたときとでは、以降の操作手順が異なります。

以下の手順に従って操作を行ってください。

重要 **原稿台ガラスと自動原稿送り装置AF-VIを併用して、原稿読み取りを行うことはできません。**

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2枚目の原稿をセットし、スタート を押す



表裏両方のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順5～8を繰り返します。

重要

1枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP両面待ち時間」で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。

参考

- 2枚目の原稿をセットしないで ストップ を押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定ができます。
  - ・原稿モード
  - ・読取濃度
  - ・変倍
  - ・網点
  - ・コントラスト強調
  - ・トーンカーブ選択

■ 自動原稿送り装置にセットしたとき

セットした一番上の原稿から読み取りが始まります。
原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

両面印刷のしかた

RISOオートフィーダーDX-1を装備している場合

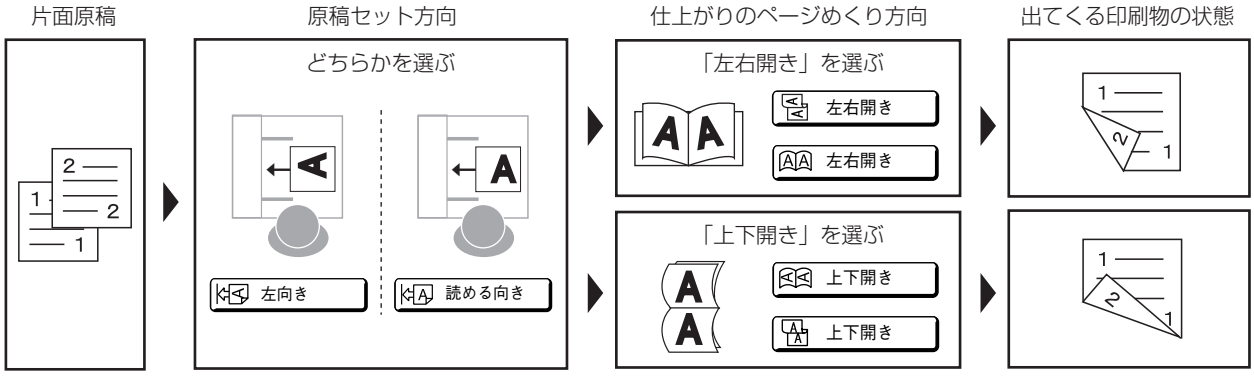
本機にRISOオートフィーダーDX-1（オプション）を装着しているときに、両面原稿の読み取りができます。

■ 原稿のセット方向・ページめくり方向と出てくる印刷物の状態の関係

原稿セット方向・・・・・本機の前に立って原稿をセットするときの、原稿の向きを示します。
ページめくり方向・・・原稿（または仕上がり時）の綴じ方向を示します。
画面上のボタンアイコンは、原稿セット方向を基準にしたときの図になっています。

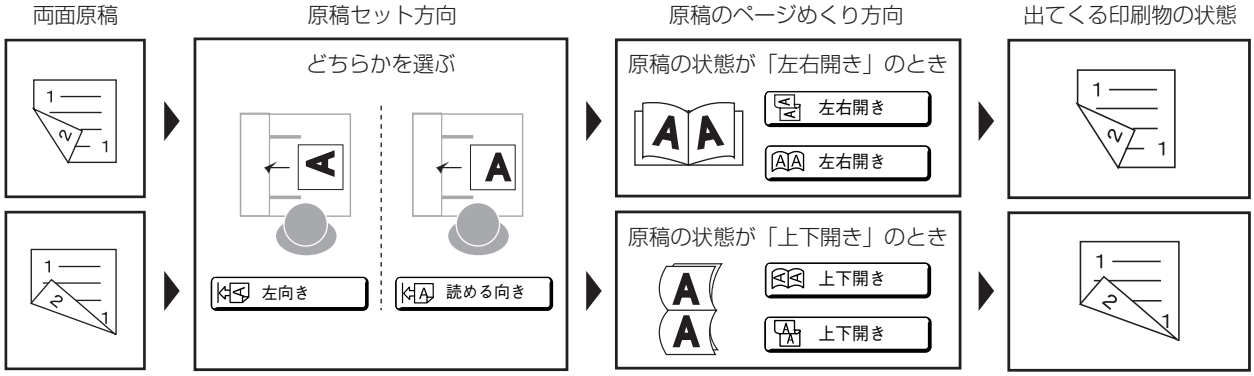
片面 → 両面（連携機に両面印刷ユニット（オプション）を装着時）

片面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。
原稿は、オモテ面を上向きにセットしてください。

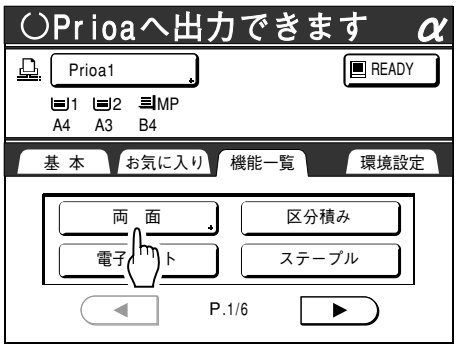


両面 → 両面 （連携機に両面印刷ユニット（オプション）を装着時）

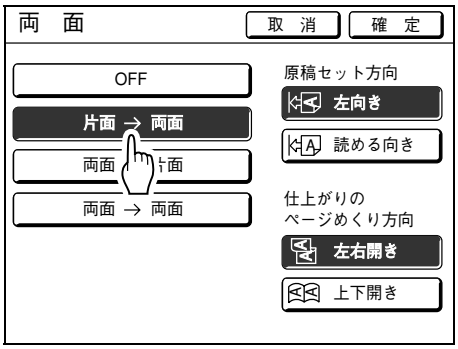
両面の原稿を両面に印刷する場合に選択します。
RISOオートフィーダーDX-1にセットした原稿の上面（オモテ面）→ 下面（ウラ面）の順に読み取られます。



1 機能一覧画面で［両 面］にタッチする



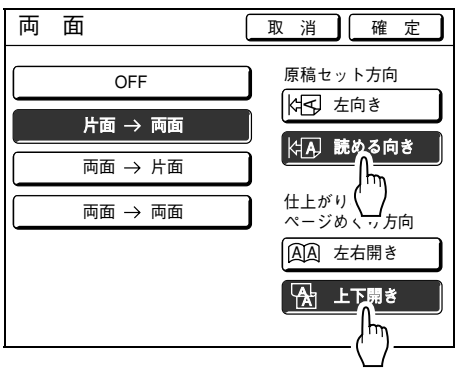
2 片面／両面の種類を選択する



参考

- 原稿台ガラスにセットするときは、[片面→両面]にタッチしてください。
- 連携機に両面印刷ユニット（オプション）を装着していないときは、[片面→両面]、[両面→両面]はグレー表示されタッチできません。

3 「原稿のセット方向」「ページめくり方向」を設定する



4 ［確 定］にタッチする

参考

両面印刷を行わないときは、［OFF］にタッチした後に［確 定］にタッチしてください。

5 原稿をセットする

原稿台ガラス、または自動原稿送り装置（オプション）に原稿をセットします。
原稿セットの詳細については、印刷機の取扱説明書の「紙原稿をプリントする」を参照してください。

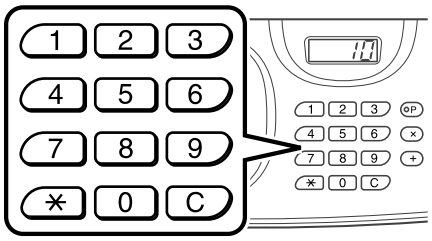
6 プリントに必要な設定をする

設定できる機能は次のとおりです。

- 原稿モード
- 読取濃度
- 変倍
- 用紙サイズ
- 網点
- メモリー
- コントラスト強調
- トーンカーブ選択
- ブックモード
- プレビュー表示
- オーバーレイ
- ホールド

両面印刷のしかた

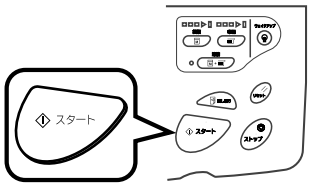
7 テンキーで印刷枚数を入力する



入力した枚数は、枚数カウンターに表示されます。

参考 枚数の入力を間違えたときは、C を押して消去した後に入力しなおしてください。

8 スタート を押す



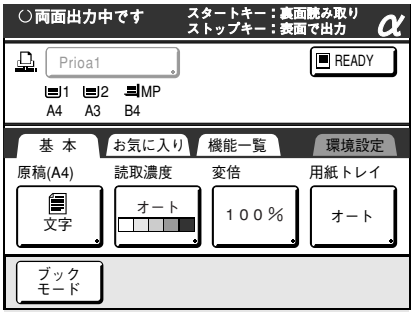
原稿台ガラスにセットしたときとRISOオートフィーダーDX-1にセットしたときとでは、以降の操作手順が異なります。

以下の手順にしたがって操作を行ってください。

重要 **原稿台ガラスとRISOオートフィーダーDX-1を併用して、原稿読み取りを行うことはできません。**

■ 原稿台ガラスにセットしたとき

【両面出力中です】というメッセージ表示後、2枚目の原稿をセットし、スタート を押す



表裏両面のデータが送信されると、入力した枚数が連携機から出力されます。

複数の両面印刷物を作成する場合は、手順5～8を繰り返します。

重要 **1枚目の原稿データが送信されてから、「環境設定」の「RLP両面待ち時間」で設定されている時間内に次の原稿をセットしなかったときは、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。**

参考

- 2枚目の原稿をセットしないで ストップ を押すと、片面のみが印刷されて、連携機から出力されます。
- 2枚目の原稿をセットして、原稿が読み取られる前には、次の設定が出来ます。
  - ・原稿モード
  - ・読取濃度
  - ・変倍
  - ・網点
  - ・コントラスト強調
  - ・トーンカーブ選択

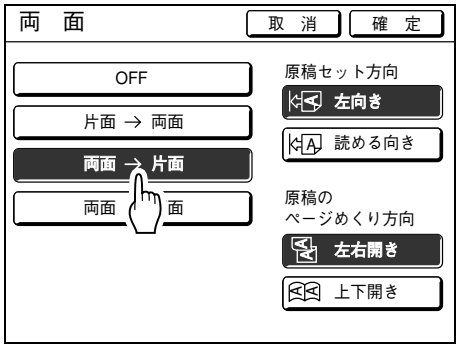
■ RISOオートフィーダーDX-1にセットしたとき

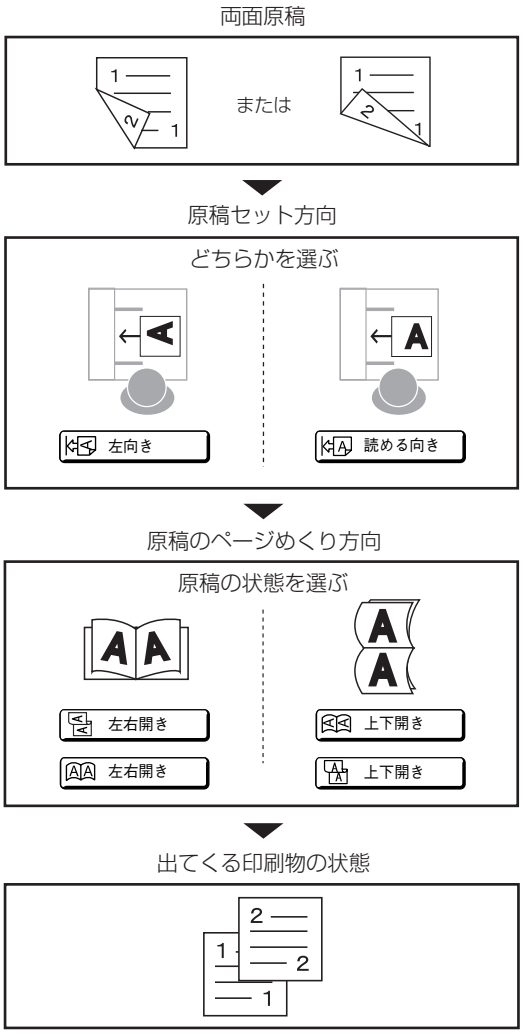
セットした一番上の原稿のオモテ面から読み取りが始まります。

原稿が読み取られると、読み取られた順に入力した枚数が連携機から出力されます。

両面原稿を片面に印刷する場合

RISOオートフィーダーDX-1（オプション）を装着している場合、両面原稿を読み取って片面に印刷することができます。
[両面]画面で 両面 → 片面 を設定し、印刷を行ってください。





PRINTED WITH SOY INK
Trademark of American Soybean Association

古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています

RISO

お問い合わせ先

本体・オプション製品に関しては
お客様相談室 0120-534-881

当社製プリンタドライバ/ソフトアプリケーションの操作に関しては
サポートセンター 0120-229-330

受付時間(月～金 10:00～12:00,13:00～17:00 土・日・祝日・当社休業日を除く)

理想科学工業株式会社
〒108-8385 東京都港区芝5-34-7田町センタービル 電話(03)5441-6666
ホームページ　http://www.riso.co.jp/